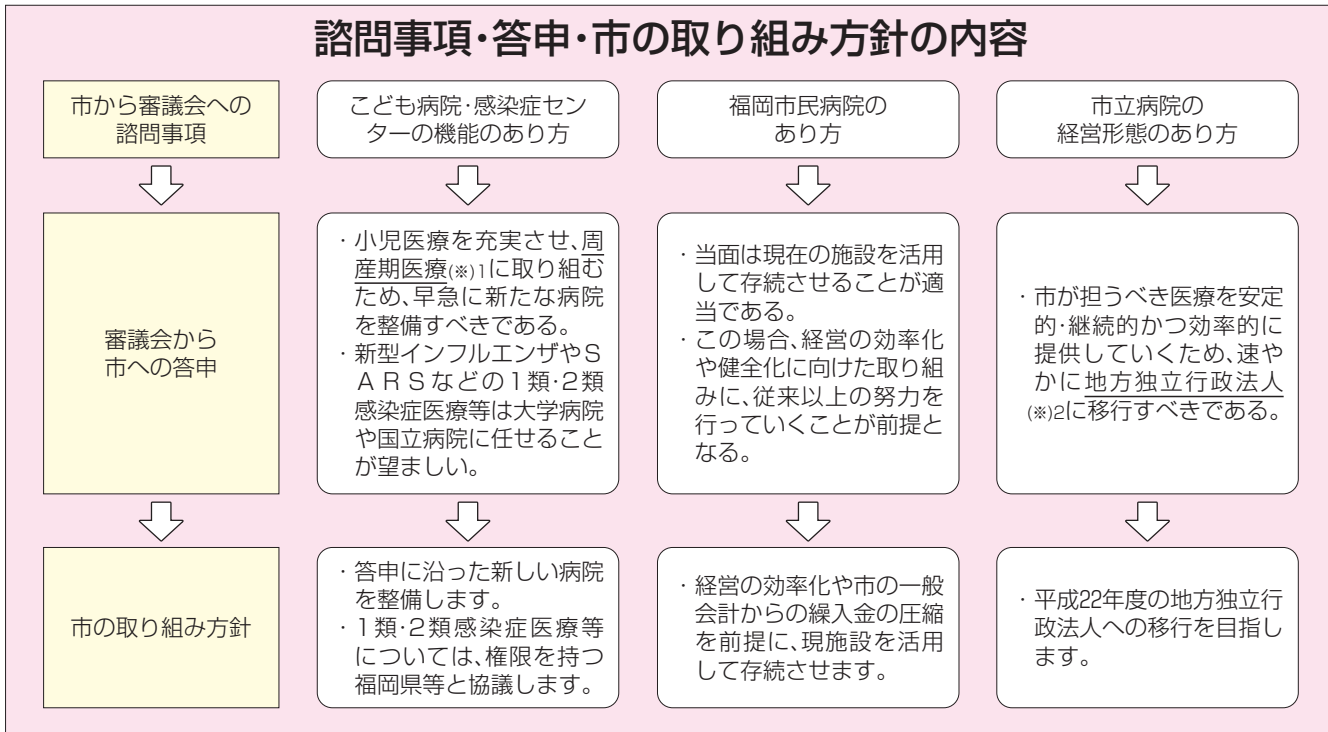


いづも病院の機能のあり方などについて 市の取り組み方針をまとめました

市は、今年1月8日、医療の専門家や市議会議員などで構成する病院事業運営審議会に、市立病院のあり方について諮問しました。この諮問事項について、6月9日に、審議会の会長から市長へ答申が行われ、市はこの答申に沿って事業を進めるとい取り組み方針をまとめました。

※いづも病院・感染症センターは、文中ではいづも病院と表します。



(※)1、妊娠後期から新生児早期までの期間の出産に関する時期を一括した概念を周産期といい、この時期に母体、胎児、新生児を総合的に管理して母と子の健康を守るための医療。
 (※)2、市民生活、地域社会および地域経済の安定等の公共上の見地からその地域において確実に実施される必要のある事務・事業のうち、自治体自身が必ず直接実施するという必要まではないものの民間の主体に委ねては確実に実施が確保できないおそれがあるものを効率的・効果的に行わせるため、自治体が設立する法人のことをいう。すでに宮城県立いづも病院や大阪府の府立5病院などが、地方独立行政法人として運営されている。

※詳細は、市のホームページをご覧ください。www.city.fukuoka.lg.jp/

>生活情報>健康・医療・年金>医療>新病院創設>福岡市立病院のあり方に関する市の取組方針について

市民の皆さんの 疑問にお答え します



現在のいづも病院

新病院の整備場所の検討状況はどうなっていますか？

市は、昨年12月の検証・検討報告で、整備場所はアイランドシティが適地との方向性をまとめていますが、現在、答申で示された新病院に必要な医療機能などを踏まえて、周辺のまちづくりや経済性、敷地の活用性などを含めた総合的な観点から検討しており、7月中をめどに整備場所を決定する予定です。

新病院は、どのような病院になるのですか？

小児医療、周産期医療などを担う新病院を整備します。最新の高度医療を行うための機器や設備を備え、患者や家族のストレスを和らげるためにゆとりを持った病室を確保するなど、子どもが安心して治療を受けられる環境を提供します。また、利用者の皆さんから要望が多い駐車場も十分な台数を確保します。現在、小児科や産科、麻

どうして今の病院ではだめなのですか？

いづも病院は、開院してから約30年が経ち、施設・設備の老朽化により、次々と大規模修繕が必要な時期となっており、耐震補強についても全面的な工事が必要です。また、施設が狭いため、高度化が進む医療に対応するための機器や設備を備えることが難しくなっています。病室が狭いことや慢性的な駐車場不足などの課題も抱えています。

現地での建て替えはできないのですか？

現地での建て替えは、診療を続けながら行うことになるため、工事の振動や騒音により、利用者に大きな苦痛や不便を与えますし、一部休診の可能性もあります。また、さらに地に建てる場合と比べて、約1.5倍の費用がかかり、工事期間が最短でも約5年かかる見込みです。さらに、土地が狭く、形状が不整形である中で診療と工事を並行して行うために設計上の制約も大きくなり、使い勝手や機能の面で効率的な施設をつくるのが困難です。

候補地はどのような場所があり、どのように評価しているのですか？

検証・検討ではまず、現

在地近くの候補地として、①九州大学六本松キャンパス跡地②九州大学田島寮跡地③当仁中学校跡地を検討しました。

①九州大学六本松キャンパス跡地は、土地単価が高いことや朝夕を中心に慢性的な交通渋滞が発生していることなど、また②九州大学田島寮跡地や③当仁中学校跡地は敷地面積や周りの道路が狭く、今後の医療機能拡張などに問題があることから、新病院用地としては最適な場所ではないと考えています。

アイランドシティでは地震の心配もあるのではないですか？

アイランドシティでは、液状化が生じにくいよう、地盤を安定させる地盤改良を行っています。また、アイランドシティにかかる3つの橋は、すべて国土交通省の技術基準に基づき設計により、阪神・淡路大震災規模の地震に耐えることができる強度でつくられています。

【問合せ先】

市立病院担当 ☎7111-42711 ☎7333-5799 メール byoin.ph@city.fukuoka.lg.jp



マンマー・サイクロン被害、中国四川省・地震被害への義援金
たくさんの善意をありがとうございました

「福岡市民義援金」としてマンマーに1,008,780円、中国に1,610,924円を贈りました。 閩防災・危機管理課 ☎711-4056 ☎733-5861